



所有面積別林業經營実態(抜粋) 2013年度



区分	林業粗収益	林業経営費	林業所得
全国	2,484	2,371	113
20～50ha	2,773	2,013	760
50～100ha	1,742	1,652	90
100～500ha	3,198	3,309	△ 111
500ha以上	9,346	13,851	△ 4,505

総務省統計局 林業経営統計調査 平成25年度林業経営統計調査報告
2013年度



森林認証

独立した第三者機関が、森林管理を公表された基準に照らし合わせて、評価・認証していく制度を「森林認証制度」と言う。



FSC Trademark ©1996 Forest Stewardship Council A.C.

SCS-PM-00006 SCS-C-00155 Forest Owner & Woods Supplier

速水林業はFSCの原則と基準に則って適切に森林管理を実行し、その森林からの木材を販売しています。



FSCとは

1. 環境保全の点から見て適切な管理
 2. 社会的な利益にかなう管理
 3. 経済的にも継続可能な管理
- FSC独自のロゴマークを付け、適切に管理した森林からの様々な製品を広く消費者に流通
 - 世界の森林保全へ向け、森林管理者から、木材・木材製品の消費者に至るさまざまな関係者を一体化しようとする取り組み
 - 幅広い情報の公開と様々なステークホルダーとの連携を重視する←日本の森林行政の欠落点



木造在来工法が一番安い

持家一戸建 工法別 1㎡当たり工事費予定額の推移 (全国平均 2016年7月)

木造在来工法

2015年平均	172,319円/㎡
2014年平均	169,677円/㎡
2013年平均	164,770円/㎡
2012年平均	163,144円/㎡
2011年平均	161,544円/㎡
2010年平均	160,842円/㎡

ツーバイフォー工法

2015年平均	186,633円/㎡
2014年平均	182,747円/㎡
2013年平均	177,971円/㎡
2012年平均	175,177円/㎡
2011年平均	173,708円/㎡
2010年平均	172,627円/㎡

プレハブ工法

2015年平均	238,852円/㎡
2014年平均	233,125円/㎡
2013年平均	225,116円/㎡
2012年平均	221,612円/㎡
2011年平均	218,365円/㎡
2010年平均	215,425円/㎡

分譲住宅一戸建 工法別 1㎡当たり工事費予定額の推移 (全国平均 2016年7月)

木造在来工法

2015年平均	143,971円/㎡
2014年平均	142,811円/㎡
2013年平均	143,183円/㎡
2012年平均	144,800円/㎡
2011年平均	146,331円/㎡
2010年平均	148,120円/㎡

ツーバイフォー工法

2015年平均	154,255円/㎡
2014年平均	154,159円/㎡
2013年平均	152,774円/㎡
2012年平均	150,904円/㎡
2011年平均	150,584円/㎡
2010年平均	149,968円/㎡

プレハブ工法

2015年平均	222,395円/㎡
2014年平均	218,243円/㎡
2013年平均	211,461円/㎡
2012年平均	207,027円/㎡
2011年平均	205,391円/㎡
2010年平均	202,533円/㎡

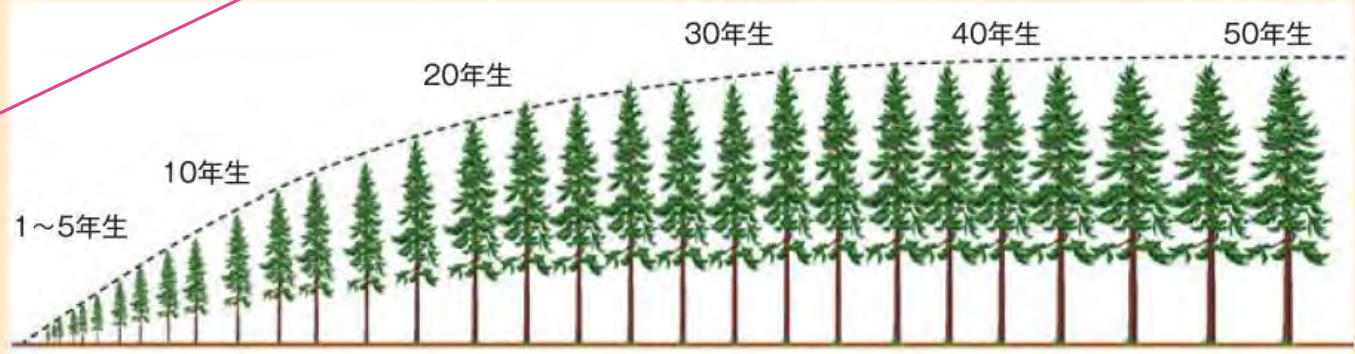
出典: 住宅金融支援機構
Japan Housing Finance Agency

(資料)国土交通省「建築着工統計調査報告」(月次データ)をもとに作成



スギ人工林の造成に要する費用

5年間一括りの樹齢の表し方
ex.6齢級は26年生～30年生



齢級	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
費用(万円/ha)	126	30	20	14	13	7	5	8	5	5	231

資料：農林水産省「平成20年度林業経営統計調査報告」(平成23(2011)年1月)

30年生までに88%の208万円必要

立木の売上は100万円/ha程度

50年生までに231万円/ha必要



諸外国の30年生までの育林コスト

米国北西部の育林コスト

- 1haで1,200～2,100\$
(142,000～247,800円)/ha
- 日本の1/8～1/15

ニュージーランドの育林コスト

- 7,400 N\$(約66万円)/h (土地購入費用が4割程度入っている。)
- 純育林費は概ね40万円/ha
- 日本の1/5

1\$=118円で換算

注:1995年のデータ

筑波大学 餅田治之「北米と日本における木材生産コストの比較」から

1N\$= 89円

注:2003年時点、30年伐期、1haは概ね500万円程度の売り上げ

持続可能な森林経営研究会 第7回セミナー
2009年1月寺岡行雄(鹿児島大学農学部)



速水林業の労働投資の変遷(人/日)

2015/2/27

20

林齢	作業区分	1980年代	2012年度	現状
1	地拵え	30	5	0
	植栽本数	8,000	4,000	2,500
	植え付け	46	13	5
	獣害防護柵設営	0	12	12
1~7	下刈り	100(9回)	24(3回)	15(2回)
5~28	切捨間伐・枝打	237	62	62
計		413	116	94



予想される最低保育経費の試算(枝打ち無し)

林例	作業区分	人数	単価	経費		割合
1	地拵え	0	0	0	240,000	36.9%
	苗木代	1,500本	100	150,000		
	植え付け	5	18,000	90,000		
2	下刈1回	8	20,000	160,000	320,000	49.2%
3	下刈1回	8	20,000	160,000		
21	除伐	5	18,000	90,000	90,000	13.8%
計		26		650,000	650,000	四捨五入で合計100%にならず

- ◆シカの食害が無い場合
- ◆苗木は精英樹の挿し木苗。
- ◆単価は福利厚生費等の間接経費を含む。

✓ 1,500本は偶然だがドイツで推奨されている植栽本数
✓ 補助金を入れて考えると自己負担18万~26万円程度



新しい林業の動きについていけるか

- 森林をアセット(資産)と捉え作業はアセットを増加
- 作業の結果、将来の森林の姿を予想し価値を評価
- 投資に耐えうる説明責任を備えた管理を目指す
- 具体的な持続性の確保
- 各々の作業の詳細な環境管理計画
- 外部に対しても社会性の説明が必要
- ステークホルダーへの説明責任と意見の聴取